



## ■全高書研公開用 事例②（書道Ⅰ）

	するために必要な技能を身に付け、表している。	
--	------------------------	--

(改善等通知 別紙5 P.3, 4)

### 4 書道Ⅰの目標と評価の観点及びその趣旨

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のように育成することを目指す。

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
目標	書の表現の方法や形式, 多様性などについて幅広く理解するとともに, 書写能力の向上を図り, 書の伝統に基づき, 効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ, 意図に基づいて構想し表現を工夫したり, 作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え, 書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み, 生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに, 感性を高め, 書の伝統と文化に親しみ, 書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

(高等学校学習指導要領 P.157)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>書の表現の方法や形式, 書表現の多様性について幅広く理解している。</li> <li>書写能力を向上させるとともに, 書の伝統に基づき, 作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け, 表している。</li> </ul>	書のよさや美しさを感じ, 意図に基づいて構想し表現を工夫したり, 作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え, 書的美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 P.86 を参考に作成

### 5 単元構成

「B鑑賞」(1)鑑賞総時間数 **8時間** (鑑賞領域のみでの単元の授業時数)

単元① 鑑賞① (手書き文字と活字)

**全4時間**

単元② 鑑賞② (地域の碑の鑑賞)

**全4時間** 【本単元】

### 6 単元の目標

※ここでは学習指導要領の内容を本単元の学習に即した内容に置き換えたり, 2項目を1項目にまとめたりして作成した単元の目標の例を示した。(『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 高等学校芸術(書道) p53~55 参照)

#### (1) 「知識及び技能」

- 線質, 字形, 構成等の要素と表現効果や風趣との関わり, 日本の文字と書の伝統と文化について理解する。

#### (2) 「思考力, 判断力, 表現力等」

- 作品の価値とその根拠について考え, 書のよさや美しさを味わって捉える。
- 生活や社会における書の効用について考え, 書のよさや美しさを味わって捉える。

#### (3) 「学びに向かう力, 人間性等」

## ■全高書研公開用 事例②（書道 I）

- ・地域の碑の鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。

### 7 内容のまとめりごとの評価規準

「B鑑賞」(1)鑑賞 及び 「共通事項」(1)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。</li> <li>・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。</li> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。</li> <li>・漢字の書体の変遷，仮名の成立等について理解している。</li> <li>・書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の価値とその根拠について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> <li>・生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> </ul>	<p>主体的に幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」 P. 88 を参考に作成

### 8 単元の評価規準

※ここでは学習指導要領の内容を本単元の学習に即した内容に置き換えたり，2項目を1項目にまとめたりして作成した単元の目標に対応して作成した単元の評価規準の例を示した。（『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」高等学校芸術（書道） p 53～55 参照）

#### (1)知識・技能

- ・線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わり，日本の文字と書の伝統と文化について理解している。

#### (2)思考・判断・表現

- ・作品の価値とその根拠について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。
- ・生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。

#### (3)主体的に学習に取り組む態度

- ・地域の碑の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。


■全高書研公開用 事例②（書道Ⅰ）

9 単元の指導と評価の計画

- ・年間授業時数・70 時間 ・「B鑑賞」・8 時間（鑑賞領域のみでの単元の授業時数）
- ・本単元の配当時間・ 4 時間

(1) 単元の指導と評価の計画（概要）

単元	時間	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			知鑑	思鑑	態鑑
「鑑賞②」	第1次 (2時間)	観点の確認①（鑑賞の方法や形態）	↓		↓
		鑑賞①（直感的鑑賞）		◎	
		観点の確認②（時代や背景、内容や形式等と筆者との関わり）		◎	
		鑑賞②（碑の鑑賞）		◎	
		自己評価①		◎	
		◎指導に生かす評価 ●記録に残す評価		◎ ◎ ◎	
	第2次 (2時間) (本時は2時間目)	観点の確認③（線質、字形、構成等の要素）	↓		↓
		意見交換		◎	
		鑑賞③（最終発表会）		●	
		自己評価②		●	
		単元のまとめ		◎	
		◎指導に生かす評価 ●記録に残す評価		● ◎ ●	
				●	
				●	

※ 「」は評価場面の連続性を示す。

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」P.58 を参考に作成

(2) 単元における観点別学習状況の評価方法

※ここでは○「おおむね満足できる」状況(B)，◎「十分満足できる」状況(A)，◆「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への手立てを示しているが、これはあくまでも例であり、必ずしもこの評価方法で評価しなくてはならないわけではなく、評価方法については、授業内容や授業展開、生徒の学習状況等を考慮して各都道府県の様式に従って作成することになる。

評価の観点と単元の評価規準		○「おおむね満足できる」状況(B)の例 ◎「十分満足できる」状況(A)の例 ◆「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への手立て
知識・技能	知鑑 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。	○線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について、おおむね理解している。 ◎線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について、相互鑑賞・意見交換したり言語化したりする活動を通して実感的に感受し、

■全高書研公開用 事例②（書道 I）

		理解している。 ◆線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について、ICTを活用して具体例を示すなどして実感的に味わい理解できるよう支援する。
思考・判断・表現	思鑑	<p>・作品の価値とその根拠について考え、書の高さや美しさを味わって捉えている。</p> <p>○作品の価値とその根拠について考え、書の高さや美しさをおおむね味わって捉え、自身の考えを言語化している。</p> <p>◎作品の価値とその根拠について自らの生活と関わらせて考え、書の高さや美しさを深く味わって捉え、自らの考えを適切に言語化している。</p> <p>◆意見交換で他者の捉え方や考え方を参考にしたり、これまでの知識や技能と関連させたりするよう促し、書の高さや美しさを捉える活動に取り組めるよう支援する。</p>
	態鑑	<p>・生活や社会における書の効用について考え、書の高さや美しさを味わって捉えている。</p> <p>○生活や社会における書の効用について考え、書の高さや美しさをおおむね味わって捉え、自身の考えを言語化している。</p> <p>◎生活や社会における書の効用について自らの生活と関わらせて考え、書の高さや美しさを深く味わって捉え、自らの考えを適切に言語化している。</p> <p>◆生活や社会の中で書がどのように生かされていたかを振り返らせ、書の高さや美しさを味わい捉える活動に取り組めるようICTを活用して具体例を示すなどして支援する。</p>
主体的に学習に取り組む態度	態鑑	<p>・地域の碑の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>○地域の碑の鑑賞の学習活動に粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>◎地域の碑の鑑賞の学習活動に主体的に粘り強く取り組むとともに、生活や社会との関わりや自身の人生とも関わらせて広い視野から書を捉えて深く考えようとしている。</p> <p>◆自身の取組の経緯、相互鑑賞・意見交換での他者との感じ方や捉え方、考え方の交流を振り返らせ、主体的に鑑賞の学習活動に臨めるよう支援する。</p>

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」P. 61～63 を参考に作成

(3) 観点ごとの実現状況等を見取る（見取ることができる）方法（評価対象と学習活動）

※ここでは観点ごとの実現状況等を見取る（見取ることができる）方法を示しているが、これはあくまでも例であり、必ずしもこの通りの方法で見取らなくてはならないわけではなく、授業内容や授業展開、生徒の学習状況等を考慮して授業者が決めることになる。

ア「知識・技能」

(ア) 知識

（評価対象）ワークシート、活動の様子 等

（学習活動）「観点の確認」「鑑賞」「自己評価」「単元のまとめ」

イ「思考・判断・表現」

（評価対象）ワークシート、活動の様子 等

（学習活動）「鑑賞」「意見交換」「自己評価」「単元のまとめ」

ウ「主体的に学習に取り組む態度」

（評価対象）ワークシート、活動の様子 等

（学習活動）「観点の確認」「鑑賞」「意見交換」「自己評価」「単元のまとめ」

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」P. 56、57 およびP. 59、60 を参考に作成

■全高書研公開用 事例②（書道Ⅰ）

（４）本時における学習過程と評価の具体

※ここでは学習計画（例）の指導上の留意点に生徒への支援例を示しているが、あくまでも例であり、必ずしもこの通り記述しなければならないわけではなく、各都道府県等で確認した内容を記述することになる。また、この事例は、1つの単元全体を示した例である。

※本事例では評価の方法に「観」や「ワ」のみの記述で●や◎を付さない箇所があるが、これはその学習活動に関連する評価場面として付したもので、必ずしも評価しなければならないわけではなく、実際に学習計画を作成する場合、「観」や「ワ」の記述や、●や◎の観点や評価については、授業内容や授業展開、生徒の学習状況等を考慮して授業者が決めることになる。

単元② 鑑賞②「地域の碑の鑑賞」第1次、第2次（4時間）の学習計画【本時はその4時間目】

活動の流れ	時間	ねらい・学習活動	指導上の留意点	評価の方法			
				◎指導に生かす評価 ●記録に残す評価			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			知識	思鑑	態鑑		
第1次	導入	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観点の確認①</li> <li>◎書の鑑賞の方法や形態</li> <li>・書の伝統的な鑑賞の方法や形態について新たに得た知識や観点をワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の軸作品の他、拓本、複製本、画像等を効果的に活用して生活や社会における多様な文字文化の広がり、その中の一つとしての地域の碑について実感的に理解できるよう支援する。（ICTの活用）</li> </ul>	ワ		観
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞①（直感的鑑賞）</li> <li>・地域の複数の碑を画像等で鑑賞し、直感的に把握した作品（碑）のよさや美しさ、その印象をもたらす根拠について考えたことを意見交換し、ワークシートに記入する。（ペアまたはグループ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像で作品例を示して既習の古典や、線質、字形、構成等が異なる近代の書を比較して考えさせるなどして、第一印象として漠然と捉えた作品（碑）の印象についてそれぞれに見方・考え方を働かせて捉えることができるよう支援する。（ICTの活用）</li> </ul>		ワ ◎	観	
	展開	75分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観点の確認②</li> <li>◎作品が書かれた（碑が建立された）時代や背景、内容や形式等と筆者との関わり</li> <li>・作品が書かれた（碑が建立された）時代や背景、内容や形式等と筆者との関わりについて理解し、鑑賞対象とする碑を選択し、新たに得た知識・観点を踏まえて碑の鑑賞で</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各時代の思潮や文化的背景の相違によって書体の変遷し、書風もまた変化を遂げてきたことを画像等で紹介し、作品の鑑賞において、作品が書かれた（碑が建立された）時代や背景、内容や形式等と筆者との関わり等を考えることが必要であることを理解させ、筆者に関する事項や目的や意図等</li> </ul>	ワ ◎		ワ

■全高書研公開用 事例②（書道Ⅰ）

		調査する項目について話し合い、ワークシートに記入する。	を洞察することを通して、作品（碑）のよさや美しさを味わうことが大切であることに気付くよう支援する。（ICTの活用）			
		○鑑賞②（碑の鑑賞） ・実際に地域の碑を鑑賞し、それぞれに考えた調査項目について画像を記録（または拓本採取）するとともに、碑の裏面や資料等でわかったこと、感じたこと等を話し合い、その結果をワークシートに記入する。 （ペアまたはグループ）	・実際に鑑賞して感じた作品（碑）のよさや美しさと、鑑賞①での直感的鑑賞とを比較するなどして作品の価値を分析的に捉えさせるとともに、碑の環境、碑の側面・裏面、地域の資料等を調査させるなどして、作品が書かれた（碑が建立された）時代や背景、内容や形式等と筆者との関わりについて理解が深まるよう支援する。	ワ	◎	観
まとめ	10分	○自己評価① ・見方・考え方を働かせて本時の学習を振り返り、自身の活動について自己評価を行い、適切な用語を用いて言語化し、ワークシートに記入する。	・自身の学習活動を振り返り、次時以降の学習への見通しに繋がられるよう働きかける。 ・本時で習得した知識・観点を確認し、自身の学習活動を振り返り、それに対する自己評価を適切に行えるよう、例を示すなどして適切に言語化することができるよう支援する。	ワ	ワ	ワ◎
◎指導に生かす評価 ●記録に残す評価				◎	◎	◎
第2次	導入	10分 ○観点の確認③ ◎線質、字形、構成等の要素 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解し、新たに得た知識・観点をワークシートに記入する。	・様々な質感を有する線に関わる特性や文字の造形的な美しさ、作品全体から滲み出る様々な趣や味わい等について、画像等を活用して理解が深まるよう支援する。（ICTの活用）	ワ		観
	展開	75分 ○意見交換 ・鑑賞②の結果をもとに、習得した知識・観点を踏まえて話し合い、地域の碑について分かったことや感じたこと等をまと	・習得した線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりに関する知識・観点を踏まえて、実際に鑑賞して分かったことや感じ		ワ◎	観

■全高書研公開用 事例②（書道Ⅰ）

		め、ワークシートに記入する。 (ペアまたはグループ)	たこと、考えたこと等について話し合い、作品が書かれた（碑が建立された）時代や背景、内容や形式等、地域と筆者との関係性とともにも発表資料をまとめるよう、例を示すなどして支援する。			
		○鑑賞③（最終発表会） ・意見交換を通して他者の発表や作品に対する感じ方や捉え方、考え方に触れるとともに、各グループの発表を共有して自身の発表を振り返り、新たな自身の考えを適切な用語を用いて言語化し、ワークシートに記入する。	・発表に当たり、声量や文章構成、資料の活用、根拠を示すなど、分かりやすく伝える方法などについて、事例を示すなどして発表方法を工夫できるよう支援する。（ICTの活用） ・ここでは発表の様子を評価の対象とはしないが、他者の発表の様子や発表内容から自身の発表を振り返り、意見交換したことをワークシートに記入するよう伝え、他者の発表から、自身にはなかった感じ方や捉え方、考え方を認め合うことの大切さに気付くことができるよう支援する。	ワ ●	ワ ●	観
ま と め	15 分	○自己評価② ・本時の活動を振り返り、自身が思考を積み重ねてきた過程、身に付けた知識への理解を改めて確認し、見方・考え方を働かせて、鑑賞の学習活動に対する自己評価を目標に照らして行い、適切な用語を用いて言語化し、ワークシートに記入する。	・最終発表会を通して、自身とは異なる他者の見方・考え方を認め合い、自身の見方・考え方を振り返ったり、修正したりするとともに、地域の書作品の意味や価値と、見方・考え方を働かせ広げていくことの意味について主体的に考え、今後の生活の中で生かしていくことに主体的に向き合えるよう働きかける。	ワ	ワ ●	観
		○単元のまとめ ・本単元の学習を振り返り、鑑賞での学習内容、その中で併せて学習してきた〔共通事項〕の学習内容について改めて確認して理解を深める。また、地域の書の鑑賞を通して、書の伝統と文化や	・本単元で学習した「書の鑑賞の方法や形態（観点の確認①）」、「作品が書かれた時代や背景、内容や形式等と筆者との関わり（観点の確認②）」、「線質、字形、構成等の要素（観点の確認③）」の観点を再度示し、鑑賞の	ワ	ワ ●	ワ ●



■全高書研公開用 事例②（書道 I）

	書作品の意味や価値について考え、書のよさや美しさを味わうとともに、生活や社会における書の効用や、今後の生活や表現活動にどのように生かすことができるか等について主体的に考え、適切な用語を用いて言語化し、ワークシートに記入する。	学習活動の中で常に働かせ、他者との交流を通して鍛え、広げてきた見方・考え方について、その働きと自身の見方・考え方の成長を実感し、今後の生活の中でいかに活用するのか考えられるよう働きかける。(ICTの活用) ・鑑賞の活動に取り組む学習を通して身に付けてきた資質・能力を、書の伝統と文化に親しみ尊重していくことや、心豊かな生活や社会を創造していくことに生かしていくこと、また、表現と鑑賞との関わりの重要性等について主体的に向き合い考えられるよう働きかける。			
◎指導に生かす評価 ●記録に残す評価			●	◎	●

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」P. 64～76 を参考に作成

10 年間指導計画

※ここでは指導事項を「A表現(1)」のように示すなどしているが、必ずしも本事例の通り示さなければならないわけではなく、各都道府県等で決めた様式で示すことになる。ここでの事例1・2では異なる書式で示している。

計 70 時間(内訳:漢字仮名交じりの書 20 時間 漢字の書 32 時間 仮名の書 12 時間 鑑賞 6 時間)

※鑑賞の時間数について、「A表現」との複合的な単元の時間数は含まれていない。

期	単元 学習内容	学習のねらい 学習活動 等	時 数	知識及び技能 (知識・技能)	思考力・判断 力・表現力等 (思考・判断・表現)	学びに向かう 力・人間性等 (主体的に学習に取り 組む態度)
前期	1 オリエンテーション	○中学校国語科書写から高等学校芸術科書道への接続について理解する。【B鑑賞】	36	○日本及び中国等の文字と書の伝統と文化	○生活や社会における書の効用	○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
	2 鑑賞① (手書き文字と活字)	○手書き文字について学習し、活字と手書き文字の特徴について理解を深める。【B鑑賞】		○漢字の書体の変遷、仮名の成立等	○生活や社会における書の効用	○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
	3 漢字の書① (楷書の書風と結構法)	○漢字の書について、楷書の臨書や創作活動を通して楷書の用筆・運筆と表現効果に		【知表】○用具・用材から生み出される書の表現性とその表現効果 ○書体や書風と用筆・運筆と	【思表】○古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 ○意	【態表】○主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。
	4 漢字の書②					

■全高書研公開用 事例②（書道Ⅰ）

前期	(楷書の書風と線質(筆圧の変化))	ついて理解し書風に基づく表現の技能を身に付ける。【A表現】 【B鑑賞】	の関わり 【技】○古典に基づく基本的な用筆・運筆や古典の線質, 字形 ○構成を生かした表現の技能 【知鑑】○線質, 字形, 構成等の要素と表現効果や風趣との関わり ○書の伝統的な鑑賞の方法や形態	図に基づいた表現 【思鑑】○作品の価値とその根拠や生活や社会における書の効用	【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
	5 漢字の書③ (楷書の書風と線質(円筆・方筆))				
	6 漢字の書④ (楷書の創作)				
	7 仮名の書① (変体仮名)	○仮名の書の基本について理解し, 仮名の美の特徴である変体仮名や連綿について理解し仮名の表現の技能を身に付ける。 【A表現】【B鑑賞】	【知表】○用具・用材の特徴と表現効果との関わり 【技】○古典に基づく基本的な用筆・運筆 【知鑑】○漢字の書体の変遷, 仮名の成立等	【思表】○古典の書風に即した用筆・運筆, 字形, 全体の構成 【思鑑】○作品の価値とその根拠	【態表】○主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。 【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
	8 仮名の書② (単体と連綿)				
	9 漢字仮名交じりの書① (楷書の応用)	○漢字仮名交じりの書による作品制作を行い, 漢字と仮名の調和等について理解し, 漢字の書及び仮名の書で身に付けた表現の技能を深める。 【A表現】【B鑑賞】	【知表】○名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり 【技】○漢字と仮名の調和した線質による表現 【知鑑】○線質, 字形, 構成等の要素と表現効果や風趣との関わり	【思表】○漢字と仮名の調和した字形, 文字の大きさ, 全体の構成 ○名筆を生かした表現や現代に生きる表現 【思鑑】○生活や社会における書の効用	【態表】○主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。 【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
	10 漢字仮名交じりの書② (筆脈と字形)	○漢字の書の行書の導入として, 漢字仮名交じりの書を半紙に速書きすることにより行書の特徴を理解し, 行書の基本的な表現の技能を身に付ける。【A表現】【B鑑賞】	【知表】○用具・用材の特徴と表現効果との関わり 【技】○目的や用途に即した効果的な表現 【知鑑】○線質, 字形, 構成等の要素と表現効果や風趣との関わり	【思表】○目的や用途に即した表現形式, 意図に基づいた表現 【思鑑】○生活や社会における書の効用	【態表】○主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。 【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
	11 漢字の書⑤ (行書の運筆の基本と書風)	○漢字の書について, 行書の臨書や創作活動を通して行書の特徴を理解し, 行書の表現の技能を身に付ける。【A表現】【B鑑賞】	【知表】○用具・用材から生み出される書の表現性とその表現効果 ○書体や書風と用筆・運筆との関わり 【技】○古典に基づく基本的な用筆・運筆 ○古典の線質, 字形や構成を生かした表現 【知鑑】○線質, 字形, 構成等の要素と表現効果や風趣との関わり ○日本及び中国等の文字と書の	【思表】○古典の書体や書風に即した用筆・運筆, 字形, 全体の構成 ○意図に基づいた表現 【思鑑】○作品の価値とその根拠 ○生活や社会における書の効用	【態表】○主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。 【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
	12 漢字の書⑥ (行書の創作)				

■全高書研公開用 事例②（書道Ⅰ）

				伝統と文化 ○書の伝統的な鑑賞の方法や形態			
後 期	13 漢字仮名交じりの書③ (漢字の書の応用)	○漢字の書の楷書と行書の学習を生かして漢字仮名交じりの書による作品制作を行い漢字と仮名の調和等について理解し、表現の技能を高める。 【A表現】【B鑑賞】	34	【知表】○名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり 【技】○漢字と仮名の調和した線質による表現 【知鑑】○線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり	【思表】○漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成 ○名筆を生かした表現や現代に生きる表現 【思鑑】○作品の価値とその根拠	【態表】○主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。 【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	
	14 鑑賞② (地域の碑の鑑賞)	○地域の碑を鑑賞して漢字と仮名の調和や日常における書の効用、日本の文字と書の伝統と文化などについて理解を深める。 【B鑑賞】		○線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり ○日本の文字と書の伝統と文化	○作品の価値とその根拠 ○生活や社会における書の効用	○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	
	15 仮名の書③ (散らし書き)	○仮名の書の臨書や創作を通して、仮名の美の特徴や連綿、散らし書きへの理解を深め、仮名の書の表現の技能を身に付ける。 【A表現】【B鑑賞】		【知表】○線質や書風と用筆・運筆との関わり 【技】○連綿と単体、線質や字形を生かした表現 【知鑑】○線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり	【思表】○意図に基づいた表現 【思鑑】○作品の価値とその根拠	【態表】○主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。 【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	
	16 仮名の書④ (仮名の書の創作)			【知表】○名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり 【技】○漢字と仮名の調和した線質による表現 【知鑑】○線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり	【思表】○漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成 ○名筆を生かした表現や現代に生きる表現 【思鑑】○生活や社会における書の効用	【態表】○主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。 【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	
	17 漢字仮名交じりの書④ (仮名の書を応用した作品制作)	○仮名の書の学習を生かして漢字仮名交じりの書による作品を制作し、漢字と仮名の調和等について理解を深め、仮名の表現の技能を高める。【A表現】【B鑑賞】		【知表】○書体や書風と用筆・運筆との関わり 【技】○古典に基づく基本的な用筆・運筆 【知鑑】○漢字の書体の変遷、仮名の成立等	【思表】○古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 【思鑑】○生活や社会における書の効用	【態表】○主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。 【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	
	18 漢字の書⑦ (篆書の字形と筆法)	○漢字の書について、篆書の臨書を通して篆書体の字形や筆法の特徴等について理解し、篆書の表現の技能を身に付ける。 【A表現】【B鑑賞】		【知表】○用具・用材み出される書の表現性とその表現効果 【技】○古典の線質、字形や構成を生かした表現 【知鑑】○書の伝統的な	【思表】○意図に基づいた表現 【思鑑】○作品の価値とその根拠	【態表】○主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。 【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習	
	19 漢字の書⑧ (篆刻作品制作)	○漢字の書の篆書の学習で身に付けた字形や線質の特徴を生かして、篆刻作品を制作し篆刻による書の表現について理解を					

■全高書研公開用 事例②（書道Ⅰ）

後期		<p>深め、篆刻の表現の技能を身に付ける。</p> <p>【A表現】【B鑑賞】</p>	鑑賞の方法や形態		活動に取り組もうとする。
	<p>20 漢字仮名交じりの書⑤ (作品制作・学習のまとめ)</p>	<p>○書道Ⅰのまとめとして、漢字仮名交じりの書による作品制作を行い、用筆・運筆による表現効果や全体構成、漢字と仮名の調和等について理解を深め、漢字仮名交じりの書の表現の技能を高める。</p> <p>【A表現】【B鑑賞】</p>	<p>【知表】○用具・用材の特徴と表現効果との関わり ○名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり</p> <p>【技】○目的や用途に即した効果的な表現 ○漢字と仮名の調和した線質による表現</p> <p>【知鑑】○線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり</p>	<p>【思表】○漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成 ○目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現 ○名筆を生かした表現や現代に生きる表現</p> <p>【思鑑】○生活や社会における書の効用</p>	<p>【態表】○主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとする。</p> <p>【態鑑】○主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。</p>

11 参考資料・参考文献等

- ・授業で使用する資料、関連データ等  
(ワークシート、ループリック、評価セッション・パフォーマンスシート、アンケート等の数的資料や分析データ 等)
- ・学習指導案を作成するに当たり、引用したり参考にしたりした資料等
  - ・高等学校学習指導要領，高等学校学習指導要領解説芸術編
  - ・小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）
  - ・『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」高等学校芸術（書道） 他